

伊波盛伸

1. 小売商業経営実態調査の目的
2. 小売商業経営実態調査の調査項目
3. 小売商業経営実態調査の概要
 - ア 計画対象地区小売業の性格
 - イ 計画対象地区小売業の状況
 - ウ 計画対象地区小売業の経営実態
 - エ 計画対象地区小売業の展望
 - オ 計画対象地区商店街の概要
4. 小売商業経営実態調査の特徴
 - ア 計画地区商店街の性格
 - イ 計画地区商店街の状況
 - ウ 計画地区商店街の経営実態
 - エ 計画地区商店街の展望
 - オ 計画地区商店街の活力

1. 小売商業経営実態調査の目的

那覇商工会議所が商業近代化ローリング事業計画を作成するために、この計画対象地区通り会を中心にして、小売商業経営実態を知るために、実施したものである。

これは、16商店街（通り会）を対象にし、昭和60年11月1日から11日まで、面接法により実施した報告である。回収率は98.1%である。

対象商店街	配布件数	回収件数	回収率(%)
1. 国際本通り	40	40	100
2. 国際中央通り	64	64	100
3. 国際大通り	72	72	100
4. サイオン橋通り	15	15	100
5. 平和通り	149	149	100
6. むつみ橋通り	20	19	95
7. 市場本通り	25	22	88
8. ガーブ川中央通り	27	27	100
9. 新天地市場前通り	21	20	95.23
10. 大平通り	14	14	100
11. 新栄通り	18	17	94.44
12. 冲映通り	23	20	86.95
13. 浮島通り	15	15	100
14. 神原通り	18	17	94.44
15. 安里大通り	50	49	98
16. 栄町市場	29	29	100
合計	600	589	98.16

2. 経営実態調査の調査項目

経営実態調査は、以下の諸項目で実施した。

設問1 次の各項目に○印または数字を記入して下さい。

- (1) 主力商品 1 2 (2) 企業形態 1 法人 2 個人
(3) 現地での開業時 明治・大正・昭和 年
(4) 経営者の年齢 1 才 2 男・女
(5) 全従業員数 人
(6) 店舗規模 間口 間 奥行 間 売場面積 坪 (㎡)
(7) 建物の構造 木造・木造モルタル・鉄筋又は鉄骨・一部不燃化
(8) 店舗所有状況 自地・借地・自家・借家

- (9) 経営の動き(客数) 増加・不変・減少(売上高)年間 万円位
増加・不変・減少(利益)増加・不変・減少

設問2 店舗を借りている方は家主、地主との関係について下記の項目のうち○印をつけて下さい。

- 1 いつでも話し合っている 2 ときどき話し合う程度
3 月に一度位話し合う 4 年に2・3度話し合う
5 ほとんど話し合ったことがない

設問3 設問2で家主、地主とほとんど話し合わない理由についてお聞かせ下さい。
該当するものに一つだけ○印をつけて下さい。

- 1 忙しいから 2 なんとなく 3 嫌いだから 4 その他()

設問4 次の各項目に○印を記入して下さい。

- (1) 店舗改造 (過去2~3年内) 有・無 (これから) 計画あり・計画なし
(2) 主力商品の販売上重きをおいている点 地名度・品質・実用本位・低価格
(おももの3つ) ・多様化・商品豊富・高額品・客層を絞る・単純化
・アフターサービス・支払方法・現状維持・その他
(3) 後継者 あり・未定・なし

設問5 大型店との競合度についてお聞かせ下さい。

- 1 非常に強い 2 やや強い 3 普通 4 あまりない 4 全くない

設問6 次の各項目に○印を記入して下さい。

- (1) 経営の姿(長期計画) 有・一部・なし (効率)良・普通・悪い・不明
(個性特徴)有・一部・なし
(2) 経営の見通し まだ上昇する・やり方次第で上昇可能も・不変・飽和状態・このままでは悪化
(3) 経営上の問題点 売場面積 少・売上不振・立地悪化・労力不足・資金難・競争激化・後継者・品揃え・利益低下・経費増加(おもなもの3つ)
(4) 今後の経営方針 一店で規模拡大・協業化で拡大・専門店化・系列に入る・チェーン加入・一部業務提携・多角化・規模縮小・転業・現状維持
(おもなもの3つ)

設問7 あなたの最近における研究会、講習会等の参加状況について下記項目のうち一つだけ○印をつけて下さい。

- 1 開催する度に毎回参加している 2 度々参加している 3 殆ど参加していない

設問8 研究会、講習会等に殆ど参加しない理由について下記項目から一つだけ○印をつけて下さい。

- 1 関心がないから 2 参考にならないから 3 忙しいから 4 なんとなく 5 開催日時に都合ができたから 6 開催期日を知らなかったから

設問9 研究会、講習会の開催期日についての御希望をお聞かせ下さい。下記の項目のうち一つだけ○印をつけて下さい。

- 1 何時でもよい 2 閉店後がよい 3 その他

設問10 あなたの商店街の運営と今後のあり方についての御意見を聞かせて下さい。

(1)～(4)項については、それぞれの項目の中から一つ、(5)・(6)項については、いくつでもよいから○印をつけて下さい。

(1) あなたの商店街はまだ発展すると思えますか。

- 1 十分にある 2 少しはある 3 対策いかんによる 4 たいしてない 5 わからない

(2) 商店街の共同活動(現在)は活発で、あなたの店に役立っていますか。

- 1 活発で役立っている 2 やや活発で少しは役立っている 3 不活発で役立っていない 4 わからない

(3) あなたは店街活動に協力しておりますか。

- 1 積極的で協力 2 消極的で協力 3 協力していない

(4) 商店街の販売活動について

- 1 非常に効果がある 2 やや効果がある 3 あまり効果的でない 4 わからない

(5) 商店街発展のために改善すべき事項

- 1 大型店対策 2 流出対策 3 新核店舗の設置 4 個別店舗売場面積拡大 5 ブロック店舗の共同改造 6 共同店舗化 7 駐車場の整備 8 アーケード 9 道路の整備 10 客の休憩施設

11 公衆便所 12 モノレール駅前開発と 在商店街間の公共交通体系の整備

(6) 経営向上のための共同事業

- 1 店舗診断 2 店舗レイアウト指導 3 青年部活動支援 4 金融支援
5 従業員教育 6 経営者研修 7 共同仕入 8 その他

以上の項目を調査することによって、商業近代化対象地域の商店街が、商業近代化にどのような「経営意識」を持っているのか、そのための問題点、各商店街の業種・近代化への取組み姿勢等に及ぶことを知ろうとするものであった。回収率100%の商店街は、この意識が高いものと推察される。

3. 経営実態調査の概要

この調査は、設問10、項目36に及ぶものである。その回答実績は、以下の通りである。

表 - 1

設問1-(1)	織物地	飲 食 料 品	家具建 具 地	その他			
* 合計 * 589	317 53.82%	86 14.60%	19 3.23%	167 28.35%			
設問1-(2)	法人	個人	*不明*				
* 合計 * 589	107 18.17%	470 79.80%	12 2.04%				
設問1-(3)		33年以上	34~46	47~52	53~55	56年以上	*不明*
* 合計 * 589		138 23.43%	140 25.30%	97 16.74%	55 9.34%	95 16.13%	55 9.34%
設問1-(4)-1		20代	30代	40代	50代	60以上	*不明*
* 合計 * 589		13 2.21%	104 17.66%	135 22.92%	171 29.03%	117 19.86%	40 8.32%
設問1-(4)-2	男	女	*不明*				
* 合計 * 589	364 61.30%	198 33.62%	27 4.58%				

設問 1 - (5)	2人以下	3 ~ 4	5 ~ 9	10 ~ 14	15 ~ 25	26 ~ 49	50人以上	*不明*
合計 589	256 45.46%	114 19.35%	90 15.28%	16 2.72%	18 3.06%	8 1.36%	6 1.02%	81 13.75%
設問 1 - (6) - 1	1間以内	2 ~ 3間	4 ~ 5間	5間以上	*不明*			
合計 589	109 18.51%	285 48.39%	78 13.24%	25 4.24%	92 15.62%			
設問 1 - (6) - 2	2間以内	3 ~ 4間	5 ~ 6間	7 ~ 8間	9 ~ 10間	11間以上	*不明*	
合計 589	137 23.26%	178 30.22%	103 17.49%	40 6.79%	20 3.40%	10 1.70%	101 17.15%	
設問 1 - (6) - 3	10未滿	30未滿	50未滿	100未滿	500未滿	1500未滿	1500以上	*不明*
合計 589	45 7.64%	172 29.20%	110 18.68%	138 23.43%	49 8.32%	7 1.19%	1 17%	67 11.38%
設問 1 - (7)	木造	モルタル	鉄筋又 鉄骨	一部不 燃化	*不明*			
合計 589	110 18.68%	13 3.06%	408 69.27%	18 3.06%	35 5.94%			

表 - 2

設問 1 - (8)	自地	借地	自家	借家				
合計 756	70 9.26%	184 24.34%	137 18.12%	365 48.28%				
設問 1 - (9) - 1	増加	不変	減少	*不明*				
合計 589	61 10.36%	115 19.52%	361 61.29%	52 8.83%				
設問 1 - (9) - 2	1千万未滿	2千万未滿	3千万未滿	5千万未滿	7千万未滿	1億未滿	1億以上	*不明*
合計 589	139 23.60%	89 15.11%	49 8.32%	63 10.70%	25 4.24%	37 6.28%	42 7.13%	145 24.62%
設問 1 - (9) - 3	増加	不変	減少	*不明*				
合計 589	49 8.32%	114 19.35%	311 52.80%	115 19.52%				
設問 1 - (9) - 4	増加	不変	減少	*不明*				
合計 589	43 7.30%	105 17.83%	346 58.74%	95 16.13%				

設問 2	いつでも	時々	月 1 度	年 2、3 度	殆どなし	*不明*		
*合計 * 471	59 12.53%	107 22.72%	84 17.83%	47 9.98%	130 27.60%	44 9.34%		
設問 3	忙しい	何となく	嫌いだ から	その他	*不明*			
*合計 * 130	14 10.77%	48 36.92%	3 2.31%	57 43.85%	8 6.15%			
設問 4 - (1) - 1	有	無	*不明*					
*合計 * 589	209 35.48%	276 46.86%	104 17.66%					
設問 4 - (1) - 2	計画あり	計画なし	*不明*					
*合計 * 589	156 26.49%	299 50.76%	134 22.75%					
設問 4 - (2)	知名度	品質	実用本位	低価格	多様化	商品豊富	高額品	客層を 絞る
*合計 * 1,303	86 6.60%	325 24.94%	124 9.52%	167 12.82%	73 5.60%	226 17.34%	30 2.30%	63 4.83%
	単純化	サービス	支払方法	現状維持	その他			
	9 69%	92 7.06%	11 84%	77 5.91%	20 1.53%			

表 - 3

設問 4 - (3)	あり	未定	なし	*不明*				
*合計 * 589	188 31.92%	232 39.39%	104 17.66%	65 11.04%				
設問 5	非常に 強い	やや強い	普通	あまり ない	全くない	*不明*		
*合計 * 589	140 23.77%	103 17.49%	175 29.71%	105 17.83%	49 8.32%	17 2.89%		
設問 6 - (1) - 1	有	一部	なし	*不明*				
*合計 * 589	205 34.80%	133 22.58%	186 31.58%	65 11.04%				
設問 6 - (1) - 2	良	普通	悪い	不明	*不明*			
*合計 * 589	37 6.28%	297 50.42%	135 22.92%	40 6.79%	80 13.58%			

設問 6 - (1) - 3	有	一部	なし	*不明*				
*合計 * 589	193 32.77%	148 25.13%	128 21.73%	120 20.37%				
設問 6 - (2)	上昇する	上昇可能	不変	飽和状態	悪化	*不明*		
*合計 * 589	31 5.26%	227 38.54%	60 10.19%	65 11.04%	170 28.86%	36 6.11%		
設問 6 - (3)	売場縮小	売場不振	立地悪化	労力不足	資金難	競争激化	後継者	品揃え
*合計 * 1,355	165 12.18%	226 16.18%	59 5.09%	37 2.73%	94 6.94%	299 22.07%	15 1.11%	82 6.05%
	利益低下	経費増加	その他					
	202 14.91%	122 9.00%	44 3.25%					
設問 6 - (4)	規模拡大	協業化 拡大	専門店化	系列に 入る	チェーン化	業務提携	多角化	規模縮小
*合計 * 912	117 12.83%	56 6.14%	254 27.85%	17 1.86%	17 1.86%	33 3.62%	93 10.20%	23 2.52%
	転業	現状維持						
	22 2.41%	280 30.70%						
設問 7	毎回参加	時々参加	参加し ない	*不明*				
*合計 * 589	54 9.17%	197 33.45%	308 52.29%	30 5.08%				
設問 8	関心が ない	参考な ら.ず	忙しい	何となく	都合が 悪い	しらな かった	*不明*	
*合計 * 589	32 5.43%	38 6.45%	144 24.45%	80 13.58%	42 7.13%	31 5.26%	222 37.69%	

表 - 4

設問 9	何時でも	閉店後	その他	*不明*				
*今計 * 589	120 20.37%	203 34.47%	159 26.99%	107 18.17%				
設問 10 - (1)	十分 ある	少しは ある	対策い かん	大して ない	わから ない	*不明*		
*合計 * 589	142 24.11%	37 6.28%	257 43.63%	89 15.11%	52 8.83%	12 2.04%		

設問 10 - (2)	活発で役立	やや活発	不活発	わからない	*不明*	(商店街の共同活動)		
合計 589	51 8.66%	191 32.43%	168 28.52%	151 25.64%	28 4.75%			
設問 10 - (3)	積極的協力	消極的協力	協力しない	*不明*	(商店街活動に協力度合)			
合計 589	164 27.84%	306 51.95%	82 13.92%	37 6.28%				
設問 10 - (4)	非常に効果	やや効果	効果なし	わからない	*不明*	(商店街の販売)		
合計 589	32 5.43%	150 25.47%	245 41.06%	122 20.71%	40 6.79%			
設問 10 - (5)	大型店対策	流出対策	核店舗設置	売場拡大	共同改造	共同店舗化	駐車場整備	アーケード
合計 1,672	148 8.85%	138 8.25%	61 3.59%	61 3.65%	49 2.93%	32 1.91%	348 20.81%	147 8.79%
	道路の整備	休憩施設	公衆便所	モノレール				
	137 8.19%	225 13.46%	194 11.60%	133 7.95%				
設問 10 - (6)	店舗診断	レイアウト	青年部支援	金融支援	従業員教育	経営者研修	共同仕入	その他
合計 994	146 14.69%	139 13.98%	65 6.54%	176 17.71%	168 16.90%	169 17.00%	36 3.62%	95 9.56%

ア、計画対象地区の小売業の性格

まず、織物等が5割、その他が3割弱で、飲食料品が1.5割を占めるもので、家具等がどちらかといえは弱い地域である。そして、法人経営形態が2割弱を占めることで、那覇市内の他の地域より高いことで、那覇市の中心商業集積地の位置を占める。

つぎに、この地域の開業は、復帰以前から継続されているものが5割弱でありながら、昭和47年以降の新しいものが4割を占めるように活動している。それは、この地域の経営者年代別によってもいえよう。30代までのそれが2割近くであり、60代以上は同じくらいの経営者が活躍している。しかも、経営者の性別は、男性が6割、女性が3割強ということである。ただし、この区別は、女性が片手間に商売をしているということではなく、男性はそうではないということではなく、一般的なものであることを断っておく。

イ、計画対象地区小売業の状況

計画対象地区の小売業はきびしい環境下にある。それは、売場面積の狭少、従業者規模において、借地・借家問題等である。

従業者規模では、2人以下が4割強、4人以下とするとこの地区の6割強となる。そして売場規模では、間口1間(33㎡)以下が、2割弱もあり、間口3間以下が7割弱となっている。奥行が4間以下が5割強を占めている。したがって、50㎡(約15坪)以下のものが、5割強に及んでいる地区である。

このような中であって店舗は、7割近くが鉄筋又は鉄骨となっている。これは、ここに商売をしている商人のこれまでの表現ともいえるものであろう。だが、この地区には、土地を借りている商人が2割強、家を借りているものが5割弱もいる。そのため借家商人は月1度以内に家主等との関係を密接にしているものもいる。

ウ、計画対象地区小売業の経営実態

この地区の小売商6割が客の減少したと感じており、年間売上高も5割弱が3千万円以下となっている。いうまでもなく、この地区には、年商1億円以上もいることはいる。だが多の小売商は、年間売上高は伸びないとするものが5割をこえており、利益の増加が期待できないとするものが6割にも及んでいる。

そのような中で、店舗の改装を過去2～3年以内にしたものが、3割強もあり、今後これの計画をしているのが、2割強にも達していることは、県庁所在地の商店街としての「こころ意気」が感じられる。

この地区の小売商が持つセールスポイントは、次のように集約される。それは、「品質」、「商品の品揃え」、「低価格」とつづき、「サービス」、「ブランド」、「多様化」、に「客層を絞る」というようなものである。この「サービス」、「多様化」に加えて「客層を絞る」ことないとは、まさに現代の商人が考慮すべきことである。

小売商業は、継続性という点から、後継者問題がある。これに関して、この地区は、3割が「あり」と答えている。この3割にみられる「意気こみ」は、大型店との競合関係についてもみられる。

大型店について、「非常に強い」、「やや強い」を併せると4割に及ぶ商人が、その対応策を持っている。

このようにして、この地区の経営実態というものは、回答にみるように、プラスの要素が多いものばかりであるといえないものがある。この地区の商人には、経営実態がどのように考えても好転する見込みがなく、事業を継続していくための「後継者」すらないものもある。だが、この地区のリーダー的ともいえる2割を占める商人の活躍が、今後期待できうように考えられる。

エ、計画対象地区小売業の展望

長期経営計画を持つことは、たとえ小規模形態の小売商でも必要となるものである。この地区の3割強に、及ぶものが「長期経営計画」を持っていることがわかる。それは、将来の展望として、「上昇する」、「上昇可能」とするものが4割も占めていることでもわかる。これは、「飽和状態」、「悪化」と考えるものを上まわっている。

このような展望の中にも、経営上の問題がある。この問題を克服することによって展望が開かれれるものと読みとれる。それからの問題とは、「競争激化」、「売上不振」、「利益低下」と属し、さらに「売場縮小」、「経費増加」となっている。いづれせ現実的な回答であり、今日那覇市の小売商業を展望する前に深く考えねばならないものといえる。

この問題から展望に向けて、「規模拡大」、「専門店化」、「多角化」を志向するものもあれば、「現状維持」という消極的な立場もみられる。

将来の新しい展望を開くためには、小売商業の環境変化に対応するために「自ら学びとる」ことが必要である。これが、研修会、講習会というものである。

この研修会に、「毎回参加」、「時に参加」は、4割くらいの商人がこの地区にいる。「参加したい」とするものが、5割もいることは、商業近代化にプレギをかけているようなものといえよう。だが、「毎回参加」が1割弱いることは、地区のリーダーとして期待が持てるといえよう。

とは云うものの、研修会・講習会に参加しようという「意欲」がまったくないというものではない。それは、「何時でも」、「閉店後」なら「勉強会」に参加したいとするものが5割もいることである。したがって、この地区の展望は、現状から未来へのビズンを持つことによって新しい途ができればよい。

オ、計画対象地区商店街の概要

「対策いかん」によって商店街の発展が、とするものが、4割に及んでいる地区である。「大してない」、「わからない」それに「不明」の2割強に比らべて、「十分にあり」、「少しはある」の方が上まっていることを注目したい。このような傾向から、商店街の共同活路に積極性がみられるのが、少ないのは残念である。

このことは、商店街のリーダーシップに少し問題があるように考えられる。個々の商人とグループとしての活動が同じ歩調をとれないことを意味するからである。このことが、商店街の販売活動にも表われている。

しかしながら、商店街を発展させるための改善事項としてあげられているものは、すべてグループでなければ対応できないものである。この地区の商店街の展望は、個々の商人を共同するという形に結集することである。

4. 小売商業経営実態調査の特徴

ア、計画地区商店街の性格

商店街という場合、ローリング事業の関連から、次のように商店街を略称したい。

「国際」とは、国際本通り、国際中央通り、国際大通り、サイオン橋通りとする。「平和」は、平和通りを、「沖映」は、沖映通り、そして「栄町」とは、栄町市場とする。

さて、「国際」は、織物他とその他が中心とし、「平和」は織物が、そして「沖映」は、飲食料に代表される商店街といえよう。

経営形態からみると、「国際」は、法人が多く、「平和」、「沖映」は、個人が多く、「栄町」は、個人がすべてといえる。

開業時 でみると、「国際」は、復帰以前方が、56年以降より多い。「平和」は、終戦後からのものがかなり多い。「沖映」は、

表-5

設問1-(1)

設問1-(2)

	織物他	飲食品	家具建 具 他	その他	法人	個人	*不明*	
1 国際本通り	15 4.73%	5 5.81%		20 11.98%	24 22.43%	16 3.40%		
2 国際中央通り	37 11.67%	9 10.47%		18 10.78%	20 18.69%	42 8.94%	2 16.67%	
3 国際大通り	31 9.78%	3 3.49%		38 22.75%	17 15.89%	53 11.28%	2 16.67%	
4 サイオン橋通り	6 1.89%		1 5.26%	8 4.79%	6 5.61%	8 1.70%	1 8.33%	
5 平和通り	111 35.02%	9 10.47%	3 15.79%	26 15.57%	19 17.76%	127 27.92%	3 25.00%	
6 むつみ橋通り	13 4.10%	2 2.33%		4 2.40%		19 4.04%		
7 市場本通り	11 3.47%	7 8.14%		4 2.40%		21 4.47%	1 8.33%	
8 ガープ川中央通	17 5.36%	6 6.98%		4 2.40%	1 93%	26 5.53%		
9 新天地市場前通	14 4.42%	4 4.65%	1 5.26%	1 60%	1 93%	19 4.04%		
10 大平通り	7 2.12%	4 4.65%	2 10.55%	1 60%	2 1.87%	12 2.55%		
11 沖映通り	6 1.89%	3 3.49%		8 4.79%	4 3.74%	12 2.55%	1 8.33%	
12 浮島通り	8 2.52%		5 26.32%	7 4.19%	2 1.87%	16 3.40%	2 16.67%	
13 神原通り	5 1.58%	1 1.16%	3 15.79%	6 3.59%	2 1.87%	13 2.77%		
14 安里大通り	5 1.58%	1 1.16%	2 10.53%	9 5.39%	3 2.80%	14 2.98%		
15 栄町市場	11 3.47%	28 32.56%	1 5.26%	9 5.39%	1 93%	48 10.21%		
16 新栄通り	20 6.31%	4 4.65%	1 5.26%	4 2.46%	5 4.67%	24 5.11%		
* 合計 *	317 100.00%	86 100.00%	19 100.00%	167 100.00%	107 100.00%	470 100.00%	12 100.00%	

設問1-(3)

	33年以前	34～46	47～52	53～55	56年以上	*不明*		
1 国際本通り	8 5.80%	8 5.37%	6 6.19%	8 14.55%	8 8.42%	2 3.64%		

2 国際中央通り	10 7.25%	19 12.75%	7 7.22%	4 7.27%	20 21.05%	4 7.27%		
3 国際大通り	12 8.70%	11 7.38%	23 23.71%	8 14.55%	12 12.63%	6 10.91%		
4 サイオン橋通		3 2.01%	6 6.19%	2 3.64%	2 2.11%	2 3.64%		
5 平和通り	47 34.06%	41 27.52%	16 16.49%	8 14.55%	18 18.95%	19 34.55%		
6 むつみ橋通り	3 2.17%	11 7.38%	2 2.06%	2 3.64%		1 1.82%		
7 市場本通り	5 3.62%	7 4.70%	3 3.09%	2 3.64%	2 2.11%	3 5.45%		
8 ガープ川中央通	7 5.07%	6 4.03%	7 7.22%		2 2.11%	5 9.09%		
9 新天地市場前通	6 4.35%	7 4.70%	1 1.03%	1 1.82%	3 3.16%	2 3.64%		
10 大平通り	4 2.90%	5 3.36%	4 4.12%	1 1.82%				
11 沖映通り	3 2.17%	3 2.01%	5 5.15%	1 1.82%	5 5.26%			
12 浮島通り	3 4.35%	5 3.30%	1 1.03%	3 5.45%		5 9.09%		
13 神原通り	4 2.90%	2 1.34%		3 5.45%	5 5.26%	1 1.82%		
14 安里大通り	2 1.45%	3 2.01%	3 3.09%	1 1.82%	6 6.32%	2 3.64%		
15 栄町市場	10 7.25%	14 9.40%	10 10.31%	6 10.91%	7 7.37%	2 3.64%		
16 新栄通り	11 7.97%	4 2.68%	3 3.09%	5 9.09%	5 5.26%	1 1.82%		
* 合計 *	138 100.00%	149 100.00%	97 100.00%	55 100.00%	95 100.00%	55 100.00%		

復帰後が多いことがわかる。「栄町」は、かなり古い人ばかりと考えられていたが、開業年数年次にみれば、新陳代謝がみられる。

経営者の年代でみると、「国際」は、60代以上よりも、30才台以下が多い。「平和」は、「国際」と逆で、30才台よりも60才台が多いことがわかる。「沖映」に関しては、「国際」と「平和」の中間的存在で50才台が山型となっている。一方「栄町」は、やや「沖映」と同じパターンを示している。

経営者の性別では、「国際」は男性が多く、「平和」は、やや男性が多く、「沖映」は「国際」並であるし、「栄町」は、「平和」と同じ傾向をみせている。

以上のように、「国際」、「平和」、「沖映」、「栄町」は、それぞれの性格を持っているように考えられる。「平和」の経営者が「国際」に近いとは、いがない感じがしないでもない。

表-6

設問1-(4)-1

	20代	30代	40代	50代	60以上	*不明*		
1 国際本通り	2 15.38%	8 7.69%	12 8.89%	8 4.68%	8 6.84%	2 4.08%		
2 国際中央通り	2 15.38%	21 20.19%	10 7.41%	14 8.19%	14 11.97%	3 6.12%		
3 国際大通り	1 7.69%	17 16.35%	12 8.89%	27 15.79%	12 10.26%	3 6.12%		
4 サイオオ橋通り		3 2.88%	5 3.70%	4 2.34%	1 85%	2 4.08%		
5 平和通り	5 38.46%	12 11.54%	45 33.33%	38 22.22%	41 35.04%	8 16.33%		
6 むつみ橋通り		2 1.92%	5 3.70%	8 4.68%	4 3.42%			
7 市場本通り			7 5.19%	4 2.34%	3 2.56%	8 16.33%		
8 ガープ川中央通		1 96%	6 4.44%	21 6.43%	1 85%	8 16.33%		
9 新天地市場前通		2 1.92%	5 3.70%	8 4.68%	4 3.42%	1 2.40%		
10 大平通り	1 7.69%		2 1.48%	5 2.92%	2 1.71%	4 8.16%		
11 沖映通り	1 7.69%	3 2.88%	3 2.22%	7 4.09%	2 1.71%	1 2.04%		
12 浮島通り		2 1.92%	4 2.96%	3 1.75%	6 5.13%	5 10.20%		
13 神原通り		5 4.81%	3 2.22%	3 1.75%	4 3.42%			
14 安里大通り		8 7.69%	4 2.96%	3 1.75%	2 1.71%			
15 栄町市場	1 7.69%	11 10.58%	6 4.44%	18 10.53%	11 9.40%	2 4.08%		
16 新栄通り		9 8.65%	6 4.44%	10 5.85%	2 1.71%	2 4.08%		
* 合計 *	13 100.00%	104 100.00%	135 100.00%	171 100.00%	117 100.00%	49 100.00%		

設問 1 - (4) - 2

	男	女	*不明*					
1 国際本通り	31 8.52%	8 4.04%	1 3.70%					
2 国際中央通り	44 12.09%	19 9.60%	1 3.70%					
3 国際大通り	53 14.56%	16 8.08%	3 11.11%					
4 サイオン橋通り	13 3.57%	2 1.01%						
5 平和通り	74 20.33%	67 33.84%	8 29.63%					
6 むつみ橋通り	7 1.92%	12 6.06%						
7 市場本通り	13 3.57%	8 4.04%	1 3.70%					
8 ガーブ川中央通	12 3.30%	13 6.57%	2 7.41%					
9 新天地市場前通	11 3.02%	8 4.04%	1 3.70%					
10 大平通り	9 2.47%	4 2.02%	1 3.70%					
11 沖映通り	15 4.12%	2 1.01%						
12 浮島通り	12 3.30%	5 2.53%	3 11.11%					
13 神原通り	11 3.02%	4 2.02%						
14 安里大通り	12 3.30%	5 2.53%						
15 栄町市場	27 7.42%	19 9.60%	3 11.11%					
16 新栄通り	20 5.49%	6 3.03%	3 11.11%					
* 合計 *	364 100.00%	198 100.00%	27 100.00%					

イ、計画対象地区商店街の状況

従数者規模別でみる商店街の状況は、「国際」が、多方面にバラツキがあり、「平和」は2人が多く、3～4人、5～9人規模の順となっている。「沖映」は、5～9人に次いで、2人以下がみられる。「栄町」は、2人以下が大部分といえよう。

「国際」には、50人以上の小売業がみられることは、いうまでもない面がある。
それは、百店が含まれているからである。

尚、この小売商業経営実態調査は、法人経営形態も含まれているため、個人経営形態が多いこの地区ではあるが、このことをお断りしておきたい。

売場面積別でみると、「国際」は、100㎡を山形にしている。「1和」は、「国際」より少しは小さく50㎡が項上となっている。「沖映」は、「国際」並といえよう。「栄町」は、30～50㎡というようである。

表-7

設問1-(5)

	2人以上	3～4	5～9	10～14	15～25	26～49	50人以上	*不明*
1 国際本通り	6 2.34%	8 7.02%	12 13.33%	3 18.75%	6 33.33%	2 25.00%	2 33.33%	1 1.23%
2 国際中央通り	11 4.30%	20 17.54%	18 20.00%	5 31.25%	7 38.89%			3 3.70%
3 国際大通り	33 12.89%	23 20.18%	5 5.56%	2 12.50%	1 5.56%	1 12.50%	2 33.33%	5 6.17%
4 サイオン橋通り	2 78%	4 3.51%	7 7.78%				2 33.33%	
5 平和通り	54 21.09%	25 21.93%	22 24.44%	2 12.50%	1 5.56%	3 37.50%		42 51.85%
6 むつみ橋通り	13 5.08%	1 88%	1 1.11%					4 4.94%
7 市場本通り	17 6.64%	1 88%	3 3.33%					1 1.23%
8 ガーブ川中央通	23 8.98%	1 88%		1 6.25%				2 2.47%
9 新天地市場前通	10 3.91%	3 2.63%	3 3.33%					4 4.94%
10 大平通り	9 3.52%	2 1.75%	2 2.22%					1 1.23%
11 沖映通り	5 1.95%	3 2.63%	6 6.67%	2 12.50%		1 12.50%		
12 浮島通り	11 4.30%	3 2.63%	3 3.33%					3 3.70%
13 神原通り	4 1.56%	7 6.14%	1 1.11%					3 3.70%
14 安里大通り	9 3.52%	3 2.63%	1 1.11%	1 6.25%	1 5.56%			2 2.47%

15 栄町市場	32 12.50%	4 3.51%	3 3.33%		1 5.56%			9 11.11%
16 新栄通り	17 6.64%	6 5.26%	3 3.33%		1 5.56%	1 12.50%		1 1.23%
* 合計 *	256 100.00%	114 100.00%	90 100.00%	16 100.00%	18 100.00%	8 100.00%	6 100.00%	81 100.00%

表 - 8

設問 1 - (6) - 3

	10未満	30未満	50未満	100未満	500未満	1500未満	1500以上	*不明*
1 国際本通り		5 2.91%	9 8.18%	17 12.32%	7 14.29%	2 28.57%		
2 国際中央通り		13 7.56%	20 18.18%	20 14.49%	11 22.45%			
3 国際大通り	3 6.67%	26 15.12%	13 11.82%	21 15.22%	8 16.33%		1 100.00%	
4 サイオン橋通り			3 2.73%	5 3.62%	5 10.20%	2 28.57%		
5 平和通り	8 17.78%	34 19.77%	21 19.08%	29 1.01%	7 14.29%			50 74.63%
6 むつみ橋通り	3 6.67%	14 8.14%	2 1.82%					
7 市場本通り	4 8.89%	6 3.49%	6 5.45%	2 1.45%	1 2.04%			3 4.48%
8 ガーブ川中央通	14 31.11%	6 3.49%	2 1.82%	1 72%	1 2.04%			3 4.48%
9 新天地市場前通	1 2.22%	10 5.81%	2 1.82%	1 72%	2 4.08%			4 5.97%
10 大平通り	1 2.22%	8 4.65%	1 91%	2 1.45%	1 2.04%			1 1.49%
11 沖映通り		2 1.16%	3 2.73%	6 4.35%	3 6.12%	2 28.57%		1 1.49%
12 浮島通り		7 4.07%	2 1.82%	6 4.35%	1 2.04%			4 5.97%
13 神原通り		5 2.91%	2 1.82%	7 5.07%				1 1.49%
14 安里大通り		6 3.49%	3 2.73%	7 5.07%	1 2.04%			
15 栄町市場	7 15.56%	20 11.63%	16 14.55%	6 4.35%				
16 新栄通り	4 8.89%	10 5.81%	5 4.55%	8 5.30%	1 2.04%	1 14.29%		
* 合計 *	45 100.00%	172 100.00%	110 100.00%	138 100.00%	49 100.00%	7 100.00%	1 100.00%	67 100.00%

さて、このような商店街にあって、自分の店舗の所有関係をみることによって、商業近代化、への足がかりとしたい。

自分の土地で商業を営んでいる割合は、「国際」では、借地が多い。同様に「平和」は、「国際」より少ない、「沖映」では、自地と借地が同じくらいである。「栄町」のそれぞれは、自地より借地が3倍という状況である。

さらに、自家と借家の関係では、「国際」、「平和」、「沖映」、「栄町」とともに、借家の比率が多い。

このような状況の中において、「客数」の減少しているとしている商店街は、「国際」、「平和」、「栄町」が、特に示している。ただ、「沖映」だけは、あまりかわらないで、むしろ「増加」するものと考えられている。

いづれにしても、激変の対象地区商店街の状況は、きびしいものといえるのである。

表-9

設問1-(8)

設問1-(9)-1

	自地	借地	自家	借家	増加	不変	減少	*不明*
1 国際本通り	11 15.71%	9 4.89%	10 7.30%	21 5.75%	11 18.03%	14 12.17%	15 4.16%	
2 国際中央通り	6 8.57%	22 11.96%	11 8.03%	43 11.78%	11 18.03%	16 13.91%	35 9.70%	2 3.85%
3 国際大通り	4 5.71%	29 15.76%	13 9.49%	52 14.25%	8 13.11%	12 10.43%	46 12.74%	6 11.54%
4 サイオン橋通り	3 4.29%	5 2.72%	2 1.46%	8 2.19%	4 6.55%	5 4.35%	5 1.39%	1 1.92%
5 平和通り	15 21.43%	42 22.83%	39 28.47%	86 23.56%	11 18.03%	16 13.91%	103 28.53%	19 36.54%
6 むつみ橋通り		7 3.80%	2 1.46%	16 4.38%		3 2.61%	14 3.88%	2 3.85%
7 市場本通り	3 4.29%	3 1.63%	5 3.65%	13 3.56%		8 6.96%	12 3.32%	2 3.85%
8 ガープ川中央通		4 2.12%	4 2.22%	19 5.21%	1 1.64%	2 1.74%	21 5.82%	3 5.77%
9 新天地市場前通		9 4.89%	2 1.46%	11 3.01%	1 1.64%	1 87%	14 3.88%	4 7.69%
10 大平通り			2 1.46%	11 3.01%		3 2.61%	10 2.77%	1 1.92%

11 冲映通り	6 8.57%	1 54%	6 4.38%	9 2.47%	6 6.56%	9 7.83%	2 55%	2 3.85%
12 浮島通り	2 2.86%	6 3.26%	8 5.84%	10 2.74%		4 3.48%	14 3.88%	2 3.85%
13 神原通り	3 4.28%	7 3.80%	3 2.19%	10 2.74%	1 1.64%	4 3.48%	7 1.94%	3 5.77%
14 安里大通り	1 1.43%	2 1.09%	5 3.65%	13 3.56%	5 8.20%	4 3.48%	7 1.94%	1 1.92%
15 栄町市場	7 10.00%	21 11.41%	14 10.22%	28 7.67%	1 1.64%	5 4.35%	40 11.08%	3 5.77%
16 新栄通り	9 12.86%	17 9.24%	11 8.03%	15 4.11%	3 4.92%	9 7.83%	16 4.43%	1 1.92%
* 合計 *	70 100.00%	184 100.00%	137 100.00%	365 100.00%	61 100.00%	115 100.00%	361 100.00%	52 100.00%

表 - 10

設問 1 - (9) - 2

	1 千万 未 満	2 千万 未 満	3 千万 未 満	5 千万 未 満	7 千万 未 満	1 億未満	1 億以上	*不明*
1 国際本通り	5 3.60%	3 3.37%	5 10.20%	9 14.29%	2 8.00%	6 16.22%	9 21.43%	1 69%
2 国際中央通り	3 2.16%	9 10.11%	15 30.61%	14 22.22%	9 36.00%	4 10.81%	9 21.43%	1 69%
3 国際大通り	9 6.47%	20 22.47%	9 18.57%	6 9.52%	2 8.00%	8 21.62%	7 16.67%	11 7.59%
4 サイオン橋通り	1 72%	1 1.12%		4 6.35%	1 4.00%	1 2.70%	4 9.52%	3 2.07%
5 平和通り	45 32.37%	17 19.10%	6 12.24%	15 23.81%	5 20.00%	7 18.92%	7 16.67%	37 32.41%
6 むつみ橋通り	5 3.60%	4 4.49%		4 6.35%				6 4.14%
7 市場本通り	4 2.88%	3 3.37%						15 10.34%
8 ガープ川中央通	17 12.23%	2 2.25%	2 4.08%					6 4.14%
9 新天地市場前通	3 2.16%	8 8.99%				2 5.41%		7 4.83%
10 大平通り	4 2.88%	1 1.12%	1 2.04%	2 3.17%				6 4.14%
11 冲映通り	1 72%	4 4.49%			1 4.00%	3 8.11%	1 2.38%	7 4.83%

12 浮島通り	3 2.16%	4 4.49%	3 6.12%	1 1.59%	1 4.00%	1 2.70%		7 4.83%
13 神原通り				2 3.17%	2 8.00%		1 2.38%	10 6.90%
14 安里大通り	5 3.60%	2 2.25%		1 1.59%	2 8.00%	2 2.70%	1 2.38%	5 3.45%
15 栄町市場	27 19.42%	7 7.87%	6 12.24%	3 4.76%			1 2.38%	5 3.45%
16 新栄通り	7 5.04%	4 4.49%	2 4.08%	2 3.17%		4 10.81%	2 4.76%	8 5.52%
* 合計 *	139 100.00%	89 100.00%	49 100.00%	63 100.00%	25 100.00%	37 100.00%	42 100.00%	145 100.00%

表 - 11

設問 1 - (9) - 3

設問 1 - (9) - 4

	増加	不変	減少	*不明*	増加	不変	減少	*不明*
1 国際本通り	10 20.41%	11 9.65%	15 4.82%	4 3.48%	9 20.93%	12 11.43%	17 4.91%	2 2.11%
2 国際中央通り	9 18.37%	19 16.67%	28 9.00%	8 6.96%	7 16.28%	17 16.19%	31 8.96%	9 9.47%
3 国際大通り	7 14.29%	9 7.89%	37 11.90%	19 16.52%	6 13.95%	13 12.38%	42 12.14%	11 11.58%
4 サイオン橋通り	4 8.16%	6 5.26%	3 96%	2 1.74%	6 13.95%	4 3.81%	3 87%	2 2.11%
5 平和通り	10 20.41%	12 10.53%	90 28.94%	37 32.17%	7 16.28%	13 12.38%	99 28.61%	30 31.58%
6 むつみ橋通り		1 88%	16 5.14%	2 1.74%			16 4.62%	3 3.16%
7 市場本通り	1 2.04%	6 5.26%	11 3.54%	4 3.48%	1 2.33%	4 3.81%	13 3.76%	4 4.21%
8 ガーブル中央通	1 2.04%	2 1.75%	18 5.79%	6 5.22%	1 2.33%	2 1.90%	18 5.20%	6 6.32%
9 新天地市場前通		4 3.51%	11 3.54%	5 4.35%		3 2.86%	13 3.76%	4 4.21%
10 大平通り	1 2.04%	2 1.75%	10 3.22%	1 87%		2 1.90%	11 3.18%	1 1.05%
11 沖映通り	1 2.04%	8 7.02%	1 32%	7 6.09%		10 9.52%	1 29%	6 6.32%
12 浮島通り		4 3.51%	14 4.50%	2 1.74%		3 2.86%	14 4.05%	3 3.16%

13 神原通り	1 2.04%	3 2.63%	8 2.57%	3 2.61%	2 4.65%	2 1.90%	8 2.31%	3 3.16%
14 安里大通り	1 2.04%	6 5.26%	8 2.57%	2 1.74%	1 2.33%	5 4.76%	9 2.60%	2 2.11%
15 栄町市場	1 2.04%	5 4.39%	31 9.97%	12 10.43%	1 2.33%	5 4.76%	35 10.12%	8 8.42%
16 新栄通り	2 4.08%	16 14.04%	10 3.22%	1 87%	2 4.65%	10 9.52%	16 4.62%	1 1.05%
* 合計 *	49 100.00%	114 100.00%	311 100.00%	115 100.00%	43 100.00%	105 100.00%	346 100.00%	95 100.00%

ウ、計画対象地区商店街の経営実態

商店街で「何を重点」として販売するかによって販売戦略が決まってくる。「国際」は、「品質」、「商品の品揃え」、「多様化」、「低価格」、「実用本位」といったようなバラツキがみられる。「平和」では、「品質」、「商品の品揃え」、「実用本位」の3点にしぼられている。「沖映」は、「品質」、「低価格」、「ブランド」、「商品の品揃え」それに「実用本位」としぼりきれない面がみられる。「沖映」は、やや「国際」の影を強く受けている傾向がみられる。「栄町」は、「品質」、「低価格」そして「商品の品揃え」ということになっている。

セールポイントのおき方は、商店街によっても、各小売人によっても異なっているものの、対象地区の商店街に来る「客層」との関連からもいえる。

表 - 12

設問 4 - (2)

	知名度	品質	実用本位	低価格	多様化	商品豊富	高額品	客層を絞る
1 国際本通り	9 10.47%	29 8.92%	3 2.42%	5 2.99%	10 13.70%	13 5.75%	5 16.67%	3 4.76%
2 国際中央通り	11 12.79%	42 12.92%	7 5.65%	13 7.78%	9 12.33%	22 9.73%	7 23.33%	14 22.22%
3 国際大通り	14 16.28%	42 12.92%	14 11.29%	22 13.17%	15 20.55%	31 13.72%	1 3.33%	16 25.40%
4 サイオン橋通り	3 3.49%	10 3.08%	7 5.65%	3 1.80%	1 1.37%	9 3.98%		1 1.59%
5 平和通り	20 23.26%	64 19.69%	40 32.26%	43 25.75%	15 20.55%	64 28.32%	5 16.67%	10 15.87%

6 むつみ橋通り	1 1.16%	11 3.38%	8 6.45%	4 2.40%	3 4.11%	7 3.10%	1 3.33%	3 4.76%
7 市場本通り	1 1.16%	10 3.08%	6 4.84%	8 4.79%	4 5.48%	12 5.31%	2 6.67%	
8 ガーブル中央通	2 2.33%	16 4.92%	5 4.05%	16 9.58%	4 5.48%	3 1.33%		1 1.59%
9 新天地市場前通		9 2.77%	5 4.03%	7 4.19%	1 1.37%	5 2.21%		1 1.59%
10 大平通り	2 2.33%	10 3.08%	1 81%	4 2.40%	1 1.37%	7 3.10%	1 3.33%	
11 沖映通り	6 6.98%	11 3.38%	5 4.03%	6 3.59%	1 1.37%	6 2.65%		3 4.76%
12 浮島通り	1 1.16%	13 4.00%	2 1.61%	7 4.19%	3 4.11%	8 3.54%	1 3.33%	2 3.17%
13 神原通り	5 5.81%	7 2.15%	3 2.42%	2 1.20%	3 4.11%	4 1.77%	1 3.33%	
14 安里大通り	3 3.49%	11 3.38%	5 4.03%	3 1.80%	2 2.74%	8 3.54%	1 3.33%	2 3.17%
15 栄町市場	7 8.14%	24 7.38%	12 9.68%	17 10.18%	1 1.37%	14 6.19%	1 3.33%	3 4.76%
16 新栄通り	1 1.16%	16 4.92%	1 81%	7 4.19%		13 5.75%	4 13.33%	4 6.35%
* 合計 *	86 100.00%	325 100.00%	124 100.00%	167 100.00%	73 100.00%	226 100.00%	30 100.00%	63 100.00%

表-12

設問4-(2)

	単純化	サービス	支払方法	現状維持	その他			
1 国際本通り	1 11.11%	6 6.52%	1 9.09%	3 3.90%				
2 国際中央通り	2 22.22%	13 14.13%	1 9.09%	5 6.49%	2 10.00%			
3 国際大通り	3 33.33%	9 9.78%	1 9.09%	7 9.09%	3 15.00%			
4 サイオン橋通り		3 3.26%		2 2.60%	1 5.00%			
5 平和通り	1 11.11%	17 18.48%	1 9.09%	15 19.48%	4 20.00%			
6 むつみ橋通り		2 2.17%		4 5.19%	1 5.00%			
7 市場本通り		3 3.26%		5 6.49%	1 5.00%			

8 ガーブ川中央通	1 11.11%	1 1.09%		2 2.60%				
9 新天地市場前通		6 6.52%	1 9.09%	8 10.39%	2 10.00%			
10 大平通り		3 3.26%		2 2.60%				
11 沖映通り		3 3.26%		1 1.30%	1 5.00%			
12 浮島通り		4 4.35%		5 6.49%	1 5.00%			
13 神原通り		2 2.17%	1 9.09%	2 2.60%	1 5.00%			
14 安里通り		3 3.26%	2 18.18%	2 2.60%	1 5.00%			
15 栄町市場	1 11.11%	6 6.52%	1 9.09%	8 10.39%	1 5.00%			
16 新栄通り		11 1.96%	2 18.18%	6 7.79%	1 5.00%			
* 合計 *	9 100.00%	92 100.00%	11 100.00%	77 100.00%	20 100.00%			

小売商業の継続性ということから、後継者に関することは、重要な問題である。これについて、「国際」は、「あり」とするものが3割もあり、「なし」とするものより多い。「平和」では、答えをよせたくち4割が「あり」となっており、これば「なし」の2倍に近いといえる。「沖映」も同様である。「栄町」は5割弱が「未定」となっている。

このような中が、各商店街が持っている大型店との競合関係では、「国際」では、かなり強気を示している。「平和」でも、大型店に対する意識がかなり高く、「国際」以上に独自性をみせている。「沖映」は、「あまりない」と「全くない」ということで、「ダイナハ」の城下町的な感覚であるようにみえる。「栄町」は、「非常に強い」というものと、「あまりない」、「全くない」とに分散されている。これは「平和」のように直接的な影響と「栄町」のように間接的なそのちがいがいといえよう。

表 - 13

設問 4 - (3)

	あり	未定	なし	*不明*				
1 国際本通り	15 7.98%	14 6.03%	7 6.73%	4 6.15%				
2 国際中央通り	24 12.77%	27 11.64%	5 4.81%	8 12.31%				
3 国際大通り	18 9.57%	34 14.66%	12 11.54%	8 12.31%				
4 サイオン橋通り	5 2.66%	7 3.02%	1 96%	2 3.98%				
5 平和通り	60 31.91%	53 22.84%	16 15.38%	20 30.77%				
6 むつみ橋通り	1 53%	12 5.17%	4 3.86%	2 3.08%				
7 市場本通り	4 2.13%	11 4.74%	6 5.77%	1 1.54%				
8 ガーブ川中央通	6 3.19%	6 2.59%	10 9.62%	5 7.69%				
9 新天地市場前通	4 2.13%	10 4.31%	5 4.81%	1 1.54%				
10 大平通り	3 1.60%	4 1.72%	6 5.77%	1 1.54%				
11 沖映通り	8 4.26%	7 3.02%	2 1.92%					
12 浮島通り	6 3.19%	8 3.45%	6 5.77%					
13 神原通り	7 3.72%	4 1.72%	2 1.92%	2 3.88%				
14 安里大通り	1 53%	11 4.74%	3 2.88%	2 3.88%				
15 栄町市場	10 5.32%	22 9.48%	8 7.69%	9 13.65%				
16 新栄通り	16 8.51%	2 86%	11 10.58%					
* 合計 *	188 100.00%	232 100.00%	104 100.00%	65 100.00%				

設問 5

	非常に強い	やや強い	普通	あまりない	全くない	*不明*		
1 国際本通り	5 3.57%	9 8.74%	11 6.29%	10 9.52%	4 8.16%	1 5.88%		
2 国際中央通り	10 7.14%	14 13.59%	21 12.00%	15 14.29%	3 6.12%	1 5.88%		
3 国際大通り	14 10.00%	12 11.65%	29 16.57%	13 12.38%	3 6.12%	1 5.88%		
4 サイオン橋通り	5 3.57%	5 4.85%	4 2.29%	2	1 2.04%			
5 平和通り	47 33.57%	26 25.24%	39 22.29%	24 22.86%	7 14.29%	6 25.29%		
6 むつみ橋通り	6 4.29%	3 2.91%	6 3.43%	1 95%	2 4.08%	1 5.88%		
7 市場本通り	5 3.57%	3 2.91%	9 5.14%	2 1.90%	3 6.12%			
8 ガープ川中央通	6 4.29%	2 1.94%	5 2.86%	2 1.90%	12 24.49%			
9 新天地市場前通	7 5.00%	1 97%	5 2.86%	2 1.80%	5 10.20%			
10 大平通り	2 1.43%	2 1.94%	2 1.14%	4 3.71%	4 8.16%			
11 沖映通り	2 1.43%	3 2.91%	5 2.86%	6 5.91%	1 2.04%			
12 浮島通り	2 1.43%	6 5.83%	5 2.86%	2 1.70%	5 6.12%	2 11.76%		
13 神原通り	4 2.86%	2 1.94%	2 1.14%	6 5.71%		1 5.88%		
14 安里大通り	4 2.86%	2 1.94%	6 3.43%	5 4.76%				
15 栄町市場	17 12.14%	10 9.71%	9 5.14%	8 7.62%	1 2.04%	4 23.53%		
16 新栄通り	4 2.86%	3 2.91%	17 9.71%	5 4.76%				
* 合計 *	140 100.00%	103 100.00%	175 100.00%	105 100.00%	49 100.00%	17 100.00%		

エ、計画対象地区商店街の展望

事業の経営を考える場合、それぞれの展望を「どのように」してという設計図が「計画」なのである。この時、長期計画の有無を問うことは、ビジネスの永遠性を可想することである。現実からの脱皮を目指すには、この可想することからスタートするのが、経営の側面である。

そこで「国際」は、将来の長期計画が「なし」とするものより、「あり」とする方が多い。「平和」では、「なし」と「不明」を合わせると、「有」とするものより多くなり、少しさびしい気がする。明日に希望が持てない程、明日に夢が持てない程悲しいものはない。「沖映」も、これを持っていない。その結果として、商店街振興組合といったものが生まれてこない。組合とは、何かを研究しようとするしないことによる。「栄町」は、「さまよえる××人」のように、長期計画が「有」とするよりも、「なし」の方が多いたということが、調査時点の表現である。

次に経営の見通しをみることにしたい。「国際」は、「悪化」する、「飽和状態」とする消極的な考えよりも、「上昇する」、「上昇可能」といった方が多い。「平和」では、「国際」より少しだけ、逆のものであり、「不明」とするものが多いのが気になる。「沖映」は、「飽和状態」を少し気にしながらも「上昇可能」と考え、「悪化」などは、全く考えていないように見える。「栄町」は、「平和」とよく似たように思える。

ここでいえることは、状平について「自分が今何をなすべきか」を手はじめとして考えて状平計画⇒長期計画を樹立するか、どうかということになる。

四つの商店街になり、商業近代化のプロジェクト地区における特徴的なものが少しずつでもでてきたといえよう。長期計画の有無が方向性を決めるものである。

表-14

設問1-(1)-1

	有	一部	なし	*不明*				
1 国際本通り	16 7.80%	15 11.28%	6 3.23%	3 4.62%				
2 国際中央通り	28 13.66%	17 12.78%	12 6.45%	7 10.77%				

3 国際大通り	23 11.22%	14 10.53%	27 14.52%	8 12.31%				
4 サイオン橋通り	8 3.90%	5 3.76%	2 1.08%					
5 平和通り	53 25.85%	26 19.55%	45 24.19%	25 38.46%				
6 むつみ橋通り	5 2.44%	5 3.76%	7 3.76%	2 3.08%				
7 市場本通り	2 98%	7 5.26%	10 5.38%	3 4.62%				
8 ガープ川中央通	5 2.44%	4 3.01%	15 8.06%	3 4.62%				
9 新天地市場前通	4 1.95%	4 3.01%	9 4.84%	3 4.62%				
10 大平通り	4 1.95%	2 1.50%	8 4.30%					
11 沖映通り	5 2.44%	10 7.52%	2 1.08%					
12 浮島通り	7 3.41%	4 3.01%	9 4.84%					
13 神原通り	6 2.93%	2 1.50%	6 3.23%	1 1.54%				
14 安里大通り	8 3.90%	6 4.51%	3 1.61%					
15 栄町市場	18 8.78%	10 7.52%	11 5.91%	10 15.38%				
16 新栄通り	13 6.34%	2 1.50%	14 7.53%					
* 合計 *	205 100.00%	133 100.00%	186 100.00%	65 100.00%				

設問 6 - (2)

	上昇する	上昇可能	不変	飽和状態	悪化	*不明*		
1 国際本通り	6 19.33%	22 9.69%	1 1.67%	4 6.15%	5 2.94%	2 5.56%		
2 国際中央通り	8 25.81%	29 12.78%	8 13.33%	3 4.62%	14 8.24%	2 5.56%		
3 国際大通り	4 12.90%	31 13.66%	6 10.00%	12 18.46%	16 9.41%	3 8.33%		
4 サイオン橋通り	1 3.23%	8 3.52%	1 1.67%	3 4.62%	2 1.18%			

5 平和通り	6 19.35%	46 20.26%	14 23.33%	13 20.00%	56 32.94%	14 38.89%		
6 むつみ橋通り		7 3.08%	3 5.00%	4 6.15%	5 2.94%			
7 市場通り	1 3.23%	9 3.96%	6 10.00%	1 1.54%	4 2.35%	1 2.78%		
8 ガープ川中央通		2 88%	4 6.67%	3 4.62%	13 7.65%	5 13.89%		
9 新天地市場前通		5 2.20%	3 5.00%	4 6.15%	7 4.12%	1 2.78%		
10 大平通り		4 1.76%	3 5.00%	4 6.15%	3 1.76%			
11 沖映通り		11 4.85%	2 3.33%	3 4.62%		1 2.78%		
12 浮島通り	1 3.23%	4 1.76%	3 5.00%	3 4.62%	9 5.29%			
13 神原通り		8 3.52%		2 3.05%	5 2.94%			
14 安里大通り	2 6.45%	9 3.96%		2 3.08%	4 2.35%			
15 栄町市場	2 6.45%	15 6.61%	6 10.00%	4 6.15%	17 10.00%	5 13.89%		
16 新栄通り		17 7.49%			10 5.88%	2 5.56%		
* 合計 *	31 100.00%	227 100.00%	60 100.00%	65 100.00%	170 100.00%	36 100.00%		

将来を展望する前に考えなければならない問題として、次のようなものがある。
 「国際」では、「競争激化」、「売上不振」、「利益低下」ということが集約されてくる。その他にも、「経費増加」、「労働力不足」、「売場減少」、「商品の品揃え」、といったことも考えねばならない。「平和」でも、「競争激化」をはじめ、「国際」の第一位も「競争激化」である。そのために「売場減少」も、「経費増加」もあがっている。「栄町」では、やはり「競争激化」、「売上不振」、「利益低下」という順となっている。

このように、対象地区小売業の商店街は、この時期（昭和60年）になって、「競争激化」を強く認識しはじめた感じがある。そのために、商業近代化は、小売商人が、小売商人によって、消費者とともに、その住む人々の街と歩む変革していく歩みであるということがわかっているようにいえよう。

表 - 15

設問 6 - (3)

	売場縮小	売上不振	立地悪化	労力不足	資金難	競争激化	後継者	品揃え
1 国際本通り	11 6.67%	12 5.31%	2 2.90%	3 8.11%	8 8.51%	19 6.35%		10 12.20%
2 国際中央通り	15 9.09%	27 11.95%	1 1.45%	5 13.51%	12 12.77%	38 12.71%	1 6.67%	15 18.29%
3 国際大通り	21 12.73%	22 9.73%	12 17.39%	12 32.43%	8 8.51%	40 13.38%	2 13.33%	19 23.17%
4 サイオン橋通り	3 1.82%	3 1.33%	1 1.45%		3 3.19%	9 3.01%		5 6.10%
5 平和通り	47 28.48%	63 27.88%	15 21.74%	5 13.51%	20 21.28%	74 24.75%	2 13.33%	9 10.98%
6 むつみ橋通り	6 3.64%	9 3.98%	4 5.80%		3 3.19%	13 4.35%	1 6.67%	2 2.44%
7 市場本通り	9 5.45%	6 2.65%		1 2.70%	8 8.51%	10 3.34%		4 4.88%
8 ガーブル中央通	12 7.27%	13 5.75%	5 7.25%	1 2.70%	3 3.19%	15 5.02%	1 6.67%	
9 新天地市場前通	2 1.21%	12 5.31%	1 1.45%	1 2.70%	4 4.26%	8 2.68%	2 13.33%	
10 大平通り	3 1.82%	6 2.65%	4 5.80%		1 1.06%	5 1.67%		
11 沖映通り	5 3.03%	2 88%		2 5.41%	1 1.06%	9 3.01%	1 6.67%	1 1.22%
12 浮島通り	2 1.21%	9 3.98%	6 8.70%		5 5.32%	13 4.35%		2 2.44%
13 神原通り	2 1.21%	6 2.65%	4 5.80%	3 8.11%	1 1.06%	5 1.67%	1 6.67%	
14 安里大通り	5 3.03%	8 3.54%	5 7.25%	1 2.70%	8 8.51%	11 3.68%	1 6.67%	3 3.66%
15 栄町市場	12 7.27%	20 8.85%	7 10.14%	2 5.41%	7 7.45%	23 7.69%	3 20.00%	8 9.76%
16 新栄通り	10 6.06%	8 3.54%	2 2.90%	1 2.70%	2 2.13%	7 2.34%		4 4.88%
* 合計 *	165 100.00%	226 100.00%	69 100.00%	37 100.00%	94 100.00%	299 100.00%	15 100.00%	82 100.00%

設問 6 - (3)

	利益低下	経費増加	その他					
1 国際本通り	13 6.44%	9 7.38%	2 4.55%					
2 国際中央通り	28 13.86%	19 15.57%	3 6.82%					
3 国際大通り	24 11.88%	18 14.75%	3 6.82%					
4 サイオン橋通り	5 2.48%	5 4.10%	2 4.55%					
5 平和通り	58 28.71%	32 26.23%	7 15.91%					
6 むつみ橋通り	10 4.95%	1 82%						
7 市場本通り	3 1.49%	4 3.28%						
8 ガーブル川中央通	9 4.46%	3 2.46%						
9 新天地市場前通	7 3.47%		4 9.09%					
10 大平通り	8 3.96%	1 82%						
11 沖映通り	4 1.98%	4 3.28%	1 2.27%					
12 浮島通り	6 2.97%	3 2.46%	2 4.55%					
13 神原通り	6 2.97%	1 82%	2 4.55%					
14 安里大通り	2 99%	4 3.28%	1 2.27%					
15 栄町市場	15 7.43%	11 9.02%	1 2.27%					
16 新栄通り	4 1.98%	7 5.74%	16 36.36%					
* 合計 *	202 100.00%	122 100.00%	44 100.00%					

オ、計画対象地区商店街の活力

商業近代化ローリング事業を遂行するためにも計画対象地区の商店街が持っている源泉を知りたいと考える。そこで商店街の発展性についてみることにしたい。

商店街の発展性について、「国際」は、「対策いかん」、「十分にある」という意気をみせている。「平和」は、「対策いかん」ということを第一にあげているものの、「大してない」、「わからない」というものもあり、発展性に疑問がせられている感がある。「冲映」は、ただ「十分にある」が象徴しているだけで、商店経営者の積極的な意思が出ているようになっていないようである。「栄町」は、「平和」ほど不安なく、「対策いかん」と「十分にある」がでてきているのは、商店街振興組合の結成もし、組合活動としての成果的なものが少しずつつ出てきているようなものが感じられる。

表 - 16

設問 10 - (1)

	十分に ある	少しは ある	対策い か かん	大して ない	わから ない	*不明*		
1 国際本通り	18 12.68%	2 5.41%	18 7.00%	1 1.12%	1 1.92%			
2 国際中央通り	21 14.79%	7 18.92%	29 11.28%	1 1.12%	5 9.62%	1 8.33%		
3 国際大通り	18 12.68%	4 10.81%	30 11.67%	12 13.48%	6 11.54%	2 16.67%		
4 サイオン橋通り	11 7.75%		3 1.17%		1 1.92%			
5 平和通り	25 17.61%	9 24.32%	68 26.46%	28 31.46%	17 32.69%	2 16.37%		
6 むつみ橋通り	2 1.41%	1 2.70%	13 5.06%	2 2.25%	1 1.92%			
7 市場本通り	5 3.52%	2 5.41%	7 2.72%	5 5.62%	2 3.85%	1 8.33%		
8 ガーブ川中央通	1 70%		9 3.50%	11 12.36%	5 9.62%	1 8.33%		
9 新天地市場前通			11 4.28%	6 6.74%	2 3.85%	1 8.33%		
10 大平通り	1 70%	1 2.70%	5 1.95%	5 5.62%	2 3.85%			

11 沖映通り	12 8.45%	3 8.11%	2 78%					
12 浮島通り	1 70%	1 2.70%	11 4.28%	6 6.74%	1 1.92%			
13 神原通り	3 2.11%		5 1.95%	5 5.62%	2 3.85%			
14 安里大通り	7 4.93%	2 5.41%	5 1.95%	2 2.25%	1 1.92%			
15 栄町市場	10 7.04%	4 10.81%	24 9.34%	2 2.25%	5 9.62%	4 33.33%		
16 新栄通り	7 4.93%	1 2.70%	17 6.61%	3 3.37%	1 1.92%			
* 合計 *	142 100.00%	37 100.00%	257 100.00%	89 100.00%	52 100.00%	12 100.00%		

設問10 - (2)

	活発で 役立	やや活発	不活発	わから ない	*不明*			
1 国際本通り	2 3.92%	9 4.71%	15 8.93%	11 7.28%	3 10.71%			
2 国際中央通り	2 3.92%	21 10.99%	18 10.71%	21 13.91%	2 7.14%			
3 国際大通り	3 5.88%	14 7.33%	30 17.86%	23 15.23%	2 7.14%			
4 サイオン橋通り	1 1.96%	2 1.05%	6 3.57%	6 3.97%				
5 平和通り	18 35.29%	66 34.55%	18 10.71%	37 24.50%	10 35.71%			
6 むつみ橋通り		10 5.24%	3 1.79%	6 3.97%				
7 市場本通り	1 1.96%	5 2.62%	12 7.14%	3 1.99%	1 3.57%			
8 ガーブル中央通	2 3.92%	2 1.05%	11 6.55%	9 5.96%	3 10.71%			
9 新天地市場前通	1 1.96%	6 3.14%	8 4.76%	5 3.31%				
10 大平通り	4 7.84%	3 1.57%	4 2.38%	3 1.99%				
11 沖映通り	3 5.38%	10 5.24%		3 1.99%	1 3.57%			
12 浮島通り		2 1.05%	16 9.52%	2 1.32%				

13 神原通り	1 1.96%	1 52%	8 4.76%	4 2.65%	1 3.57%			
14 安里大通り	1 1.99%	6 3.14%	7 4.17%	3 1.99%				
15 栄町市場	12 23.53%	17 8.90%	4 2.38%	11 7.28%	5 17.86%			
16 新栄通り		17 8.90%	8 4.76%	4 2.65%				
* 合計 *	51 100.00%	191 100.00%	168 100.00%	151 100.00%	28 100.00%			

しかしながら、商店街の真の力は、個々の小売商で出せないものが、共同して力を結集することによって、共同活動として活動することが、大型店対策ともなり、ある意味での地域振興にも連動してくるものといえる。

だが、この商店街の活動が、個々の商店に役立っているかどうかを知る必要がある。それに対して、「国際」は、「不活発」が第一位である。中には、「わからない」とするに至っては、商店街になり通り会があることすら否定するものである。商店街振興組合である「平和」ですら「わからない」というものがある。組合が結成され、活動していれば、すべて「活発で役立っている」、「やや活発」に集約されるべきである。「沖映」は、このようなことに「わからない」が多いので当然といえる面がある。なぜならば、親睦団体と組合では、活動の源泉にちがいがあある。「栄町」も、まだ「平和」と同じような不安を含んでいる。

商店街の発展のためになすべき「活動」についての答えでは、「国際」が「駐車場整備」、「流出対策」、「休憩施設」、「公衆便所」、「モノレール」といったものがみられる。「平和」でも同様なことが示されている。つまり、「駐車場整備」「大型店対策」、「流出対策」、「公衆便所」、「休憩施設」、「モノレール」といったようなパターンを、「国際」とともに示している。

「沖映」では「モノレール」と「アーケード」、「休憩施設」、「道路の整備」に関心が高い。「栄町」は、総てにわたって改善策が示されている。その中でも、「駐車場整備」、「休憩施設」、「モノレール」、「大型店対策」が、特にあげられている。

ここでいえることは、商店街の改善ということの意味である。地域の人々に応え

る活動を継続するための商業活動であることを、商業の基本ということを忘れがちな
ある。

表-17

設問10-(5)

	大型店 対 策	流出対策	核店舗 設 置	売上拡大	共同改造	共同店 舗 化	駐車場 整 備	アーケード
1 国際本通り	8 5.41%	12 8.70%	5 8.33%	2 3.28%	2 4.08%	2 6.25%	23 6.61%	10 6.80%
2 国際中央通り	10 6.76%	14 10.14%	5 8.33%	6 9.84%	6 12.24%	3 9.38%	41 11.78%	27 18.37%
3 国際大通り	20 13.51%	23 16.67%	7 11.67%	6 9.84%	7 14.29%	4 12.50%	53 15.23%	7 4.76%
4 サイオン橋通り	1 68%	3 2.17%	2 3.33%	1 1.64%			12 3.45%	6 4.08%
5 平和通り	35 23.65%	30 21.74%	14 23.33%	21 34.43%	10 20.41%	6 18.75%	105 30.17%	8 5.44%
6 むつみ橋通り	9 6.08%	7 5.07%	2 3.33%	2 3.28%		1 3.13%	6 2.59%	1 68%
7 市場本通り	4 2.70%	1 72%	2 3.33%	5 8.20%	2 4.08%		10 2.87%	4 2.72%
8 ガープ川中央通	10 6.76%	3 2.17%		4 6.56%	1 2.04%	1 3.13%	12 3.45%	13 8.84%
9 新天地市場前通	4 2.70%	1 72%	1 1.67%	2 3.28%	2 4.08%	2 3.25%	5 1.44%	4 2.72%
10 大平通り	1 68%	1 72%		1 1.64%	4 8.16%	1 3.13%	3 86%	7 4.76%
11 沖映通り	4 2.70%	5 3.62%	3 5.00%				3 86%	14 9.52%
12 浮島通り	6 4.05%	5 3.62%	6 10.00%		2 4.08%	1 3.13%	7 2.01%	2 1.36%
13 神原通り	3 2.03%	7 5.07%	3 5.00%		1 2.04%	1 3.13%	8 2.30%	3 2.04%
14 安里通り	2 1.35%	3 2.17%	3 5.00%	1 1.64%	2 4.08%		10 2.87%	3 2.04%
15 栄町市場	25 16.89%	14 10.14%	6 10.00%	8 13.11%	8 16.33%	8 25.00%	40 11.49%	14 9.52%
16 新栄通り	6 4.05%	9 6.52%	1 1.67%	2 3.28%	2 4.08%	2 6.25%	7 2.01%	24 16.23%
* 合 計 *	148 100.00%	138 100.00%	60 100.00%	61 100.00%	49 100.00%	32 100.00%	348 100.00%	147 100.00%

設問 10 - (5)

	道路の整備	休憩施設	公衆便所	モノレール				
1 国際本通り	4 2.92%	11 4.89%	2 1.03%	13 9.77%				
2 国際中央通り	2 1.46%	22 9.78%	21 10.82%	15 11.28%				
3 国際大通り	9 6.57%	26 11.56%	19 9.79%	15 11.28%				
4 サイオン橋通り	3 2.19%	3 1.33%	2 1.03%	8 6.02%				
5 平和通り	18 13.14%	61 27.11%	76 39.18%	23 17.29%				
6 むつみ橋通り	5 3.65%	6 2.67%	10 5.15%	2 1.50%				
7 市場本通り	7 5.11%	5 2.22%	8 4.12%	1 75%				
8 ガーブ川中央通	13 9.49%	6 2.67%	2 1.03%	2 1.50%				
9 新天地市場前通	8 5.84%	14 6.22%	10 5.15%	3 2.26%				
10 大平通り	5 3.65%	3 1.33%	9 4.64%	1 75%				
11 沖映通り	9 6.57%	11 4.89%	6 3.09%	12 9.02%				
12 浮島通り	8 5.84%	4 1.78%	9 4.64%	2 1.50%				
13 神原通り	5 3.65%	5 2.22%	2 1.03%	1 75%				
14 安里大通り	4 2.92%	3 1.33%	2 1.03%	6 4.51%				
15 栄町市場	18 13.14%	30 13.33%	16 8.25%	29 21.80%				
16 新栄通り	19 13.87%	15 6.67%						
* 合計 *	137 100.00%	225 100.00%	194 100.00%	133 100.00%				

以上のように、那覇市小売商業経営実態を要約的にみてきたのであるが、計画対象地区の小売業、商店街がかえているものは、大きいといえる。

小売業の性格・状況・経営実態・展望をとりいそいだのであるが、「国際」といっても四通り会があるため、性格、状況といったものにも異なりが生じていること

はいなめない。振興組合結成をしている商店街とそうでないものとは、経営実態もちがってくる。

しかしながら、那覇市小売業界にあっては、県都の中心商店街という意識、自分達の商売＝ビジネスは自らという意識というものが出ていないことがさびしいかぎりである。自分の店を守り育てることによって、商店街のそれへと発展させようとする考えでは、地域間競争の中にあつて、益に那覇市小売業の展望を個々の小売業者が持たなければ、商都那覇の位置がなくなってしまうであろう。